

2026年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

外国語試験 日本語

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号

1 / 7

2026年度

成	
績	

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

外国語試験 (日本語)

一、次の文章を読んで、後の問に答えよ。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

（濱島正士『はましまさし日本文化 私の最新講義 日本建築の独自性―古代・中世の社寺建築』〈敬文舎〉による。256～258頁）

問一 傍線部(1)～(5)の、カタカナは漢字に改め、漢字はその読みをひらがなで記せ。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

問二 傍線部(A)の「基本となっている」という表現を用いて短文を作成せよ。

問三 空欄アにあてはまる最も適切な語を次の中から選び、○で囲め。

- ① 前 ② 時 ③ 中 ④ 後

問四 空欄イにあてはまる最も適切な語を次の中から選び、○で囲め。

- ① 耐久 ② 伸縮 ③ 保湿 ④ 包括

問五 傍線部(B)「木造建築では修理すること自体が、文化遺産としてのオーセンティシティに繋がる」とはどういうことか。筆者の考えをわかりやすく説明せよ。

問六 傍線部(C)「歴史的建築は、そのまま保存するだけでは意味がない」とあるが、筆者は歴史的建築にはどのような意義があると考えているのか。本文全体の内容をふまえて説明せよ。

二、問一～二に答えよ。

問一 次の文中の空欄①～⑩に当てはまる平仮名一文字を入れよ。答えは文中の（ ）内に直接記入せよ。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

〔倉谷滋『進化する形 進化発生学入門』〔講談社現代新書〕による。3頁〕

問二 次の文中の空欄①～⑩に当てはまる日本語表現を直接記入せよ。なお、一箇所ある③には同じものが入る。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

三、次の文章を読んで、全体の要旨を二〇〇字以内で記せ。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

